

P2.36

2 of 2

67/14

c

A Japanese translation of the minute of the
Relocation Guidance Committee meeting
for July 20, 1943.

此後諸君必能領悟。

又於石印十二冊。七月二日。午後一時。又於石印一試。
又於石印三試。

出席者、宇目セツジ、ザーン、ピー、エック、ケ、
石井、ヘン、アーム、メリー、鳥原、善野、デー、
森崎、林、ユス、原、ク、中、島、ワイ、中、河、木、お、師、ワイ、
星、川、師、チー、寺、師、師、早、坂、達、郎、エック、チー、依、
久、る、師、エック、寺、川、ホー、ル、鈴、木、孝、人、ボ、メ、ロー、ン、依、
エ、ル、ダ、ス、ル、エー、フ、ホー、ル、ウ、ム、フ、ラ、ン、ク、村、松、フ、ラ、ン、ク、河、原、
デック、金、谷、中、山、幸、男。

ビービー氏に謝意を述べ、石井氏を諮問会の中に入れて、
その強みと長所を披露。

シエック氏に、本会々務公表のため指名せらるゝ小
委員の報生と提出、鈴木夫人に、指掌委員会
会議録と、会議後各会員に郵送せしと提案す。

出。フエツク中川伏投同。報告承認に付、動議提

中山幸男ハ、旅行に終集を務め、所至に郵便書
室の事務を報告。其の如し。

1. A. 大部分の人は今までに旅行して居る。
B. 故に旅行にも多量に知見を蓄積して居る。
2. A. 乗合自動車及び民家の全部の時を求む。
B. 本支路所定に居住するものに、総時を求む。
3. A. 乗合自動車及び民家の全部の時を求む。
B. 本支路所定に居住するものに、総時を求む。

B. 故に「日記」も「手帳」も、知識と徳
の必要あり。

2. A. 乗合自動車
B. 本支店所及に、所管するに、総て席申込
の旨と執る。

日。本支務所は、所長を以て、係約席申込
の旨と執る。

3. 郵便費が定額。郵便料を第二回へ報告。苦働者
より生活費、現況を給料の報告。農務者より
氣候の報告。支那諸國の生計。

中山氏は、特に平務及び、公私に對する利便に於ては、
 行又、退志者が既に、行に甘んずるに至るに至る、
 事、其の公の態度、退志者を、實驗せしむるに、
 其の切實と、其の順序に、回付。

外務省に周旋するに當り、報告も信據も計畫もなく、
 一う、稍、困窮なる如に來ることを圖、讀むやうにする
 と。ボクサー氏は、通行材料種を成、居、書、館に移すを
 提議。ボクサー氏は、二条件、念定、決定、と提議。然
 知、木更人、最、書、館、由、に、告、示、校、を、提、出、し、報、告、を、提、便、宜、と
 知、う、し、む、事、亦、宜、と、提、議。ボクサー氏又提議、

Sheet 2.

曰く、材料を學校に利用し、
地方に於いて、正當の免状下付を拒否し、當該
便道全線を、これにて疑同あり。西部諸中、
過半日以上の用費に反対。然に、感傷中、
有数なものはある、凡そ商業不振のため、未だ
用費に反対。併し先に排斥せしむる、友誼増加
の傾向あり。この氏曰く、招待を進むに、用費
の増加も用費もとも除却す。又WPAにも、當該
延滞してあり。その下、必は甚多に、未だ考
なす者記録を備へ、又其費用始に達する家族に
の交際も記録し置けり。用費を日論見らるる場合
には、例のため、延期を許し、返る者に世に
うさへ。但し商業不振のため、當該の梅金は
少し。

中山氏の報告に、本会に今この執務の必要を提
安す。又時、エック氏に、協定路同会、居住者
意見を同所、を今に提議せざるも、公然之を
行ふ、更に其居住者の報告も多かるが、手前
調者。居住者所、寧ろ手前を受けて、手前
も求めず、その「記録」に必要に、手前
にも企つ。返るに、その「記録」に必要に、手前
は、許すの目的を明にするために、之を「記録」に依
頼せざる。出所者の協定に、何れも、手前
今も其分先きに許さる。出所許し、手前
も受ける。尚又、手前、二週、又、一月
同、充分なる生活費を有する、椅子、客の運賃、
往路中、一食、一車、の食費、及び、最、一人に五十車、
家族の一人に二十五車、而して一家族に百車、
支給せらる。是れ命令書九十六号に、手前、
変更するに、本委員、全國、手前、委員に、
進言せざる。

河原、十一に對しても、四人に對して、同様、生活費
に百車、不公平な。

エック氏、退却せざる。本委員、併し、百車、が、
の家族に、支給せざる。

郵便收書所の告示が各家庭に、配布せざる。

出所手前、修項、和譯、し、可なり。

石井氏、インデクターの日本、同、手前、誤り
を、手前。

エック氏、特別の興味ある、手前、の、手前、
手前、手前。

第野、本会計議の模様を分擔せしむるに強調
を必要ありとて記憶を乞ふ。
寺川師、何程の人が懸念記憶を乞ふ。
考も有るかと思ふが、又、何な
寺川夫人、出所許り、出所許りの規則、何な
につきる報告を和訳、之をイリゲーターに掲載
せしめよ。

轉任に關する冊子、英文部二千五百部、日本文部
二千五百部、同本を本社内にて使用せしむる
べし。右冊子は多分各家庭に行き渡る。
生田夫人、読み易い日本語と、同語を避ける。

鈴木夫人、歸る所、何程、出来、多分に
通知をせしむるに在り、各文にて命令を用ゐる
も、い、登録當時のうちに、疑問に受、又有用
なる報告をなすべし。

村松氏、中學生が兄弟姉妹と別れる場合とは
一着を乞ふ。人に教へるや、又家族と共にせ
ざる可からざる。生徒等、家族、別れを待たざる様
を失を思ふ、又他を思ふ、永少年の憎む様
を看過する、そのうちに、遂に不結果に終る。

金谷氏、多人数の決意、動かし難し。
本会、書記に、十二人、指名するが、又、互に何
会議の時、選定せざる可からざる。

ビービー氏述べて曰く、中央政府、其、食、WRA現地
事務局を經て、緊急用に供するに可からざる。又、訪
問先より歸る場合、食費支拂に關する規則を説明
せしめよ。

是、公衆と關係あるに、普通、給料
を受け居る人が又、心、歸り来る、下、度、官
費、週、旅、行、と、終、り、歸り来るやうに、普通、通
の、人、と思ふ所あり。無期限、出所、人、は、歸、所、通
し、歸、り、する、所、あり。WRAの現地、事務
所、が、状態、が、不利、なる、こと、を、示、す、歸、り、する、所、あり。

改回の合同会議、七月二十八日、水曜、午後一時半より、
第二十三回、食、會、議、に、用、い、る。

會議の出席、會、の、数、を、定、む。
諸、同、會、の、氏、名、を、悉、く、名、に、録、す。

する場合には、千エールしきに行く要なく、勝手に転任することを得。今回開議せうとさすものい、一には日本行と出願して、七月一日までにその期満を前に出でぬもの。二には、貸同書の第二十八項に計り、否と答ふもの。三には、出訪を差止められたるもの。但し純りの二種類の人に對しては、審判の機会を此へらる。前記以外ものは、コロラド、ユタ、ワイオミング、アイダホの諸キャンブに移され又は自ら転任す。目下口も奨励するは転任なり。今我がハートマンは、働かばよく必要の程なまで削られて何事も轉任の一点に向ひつゝあり。在りてい、今動くと云、轉任は好機は得がたかるべし。
 ダ氏の説明より再び会議に入る。次は議案の、轉任の家族が出所第一ヶ月も働かず、又生活の自費なき時、働かざるや生活の保障を此へらるるかとのことなり。シウク氏説明として、この保障は是では、文書をもつて之を明にするとし、又かり如き場合には、如何なる期間如何なる援助を此へらるかを決することは、現地事務官の職務の一部なり。寄附計目高にて轉任せる人々も働かなければならぬ。現地事務官は、働きの周旋となり、又必要に応じて本人と轉任所に送り戻すべし。
 近田氏動議を起して曰く、家族が働かなくなりて困窮の場合には生活の援助を此へらるべきことを文書を以て保障せられ、又その援助の期するは、現地事務官の意見による計なり。二ヶ月を超えざればよし、その後行必要な場合には、轉任所に送り戻すべし。原氏之に賛同して動議通過。
 次に第三の議題は、轉任者が旅行手高を払いあづかる場合にその資産を計算するに際して若し負債あるは、之を資産より差引くや否や。又その負債といふ如何なる種類のものをいふかと云ふことなり。シウク氏曰く、一世が二世に名前を切りぬる場合には、何れが手高を受け得るか。この時提案をなすものあり、曰く、正當の計有主は、手高を受くべからず。是は明かにナリ置かば、双方とも手高を受くる資格を失はんと。又一疑問を起す人あり、曰く、負債は不同に附いて如何、或はまた支拂ふべきものは自ら支拂して何手高を請求すること、いは如何のと。この問題に未解決なり。議長閉会を宣す。
 就位置要點一覽表、表二七三號を各員に配布。

A Japanese translation of the minutes of the Relocation
Guidance Council meeting for Aug. 4, 1943.

宿遷縣志

光緒三十四年八月四日，第二十三次會議。

議改一才一以口伏用念在臣子。并御者、口一、口一、

一、鳥居、二、中鳥、三、五ノ原、四、土井、五、尾沢

ケイカは、北川、ダニ、佐藤、井上、

ヤク近田、ダク金谷、リ、六、藤、平、寺川師、ケ、石井。

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百。

東亞三國書目英兩國之冊子，及三國會議各事錄也

各處已記布。

張一之氏曰：此金針之真傳也。二氏之說，皆受其傳。

人共之。與此諸君。本會。務。凡。二。完全。記。

錄走步手許に備へた又た手許に記二種の手紙

[illegible]

天は先づ之を所賦、漢書に云く、書は二百五十篇、

所書入水に二層ありし解は其指しを記す。

及三、並要旋所。五の好む事は、金、主

[illegible]

正合城之事亦無甚大之計也。

本會決議力籌勸募：(一) 成立會所 (二) 成立圖書館

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百。

$\frac{1}{2} \left(\frac{1}{2} + \frac{1}{2} \right) = \frac{1}{2}$

又此父元。一儒名師，又甄氏，上平師，中客師，

近因氏与高梅相... 6月... 7月...

紙、
10中條師、
12尾、
13尾、
14尾、
15尾、
16尾、
17尾、

田氏、17 石井氏、19 金谷氏、21 杉野氏、24 中河氏、

佐久間師、28 京林師、魚養娘、29 荒川師、30 電

31 川崎 32 中島 33 中島 34 中島 35 中島

36 仙田娘 37 仙田娘 38 仙田娘 39 仙田娘 40 仙田娘

41 茅野氏 42 土井氏。

議長 劉君 先生 國手 陳 先生 行 先生 所

此二凡之方針に基いて、一層一、既ニ開港

所求之數 = $\frac{1}{2} \times (1 + 100) \times 100 = 5050$

やうに、一々に金貨は出さう。昔一々に金貨は出さう。

優劣の地位を占め、一先好む。本會の眼を重んじて

自若く此に就て各事變に因力致すに由るは其の如し

金鑑也。乃V.P. + 事。如言「醫學」之「醫」字。

予信企望地方WPA事務，爲一區，又別に予の事務
所を設け、此の事務を處理せしむ。

國史館藏
 國史館藏

を考へた。若し手帳に、申込者個々の綴り
備へて、家族に同じ通行手帳を他へ出す件は
中に保存して、外に漏らす。

エックス氏曰く、個人又は家族が、申込に感ずるものは
自由にして、命令に非ざる限り解一置く。一と。

第三の問題に移りて討論を始め、第一に信託一と
なり。但しその前に種々複雑な疑問起り。

一、過去の前負債は、手帳に支拂はれ、
もう一つ、之を次主に引当てる。

又五百円の前負債あり、又五百円の前主は、
高を請ひ、先づ手帳に返却する。

3. 如何なる前主は、手帳に返却する。

4. 使用の手帳金と不可手帳金とを別とせしめる。

5. 一世と二世とを別とせしめる。

6. 一世と二世とを別とせしめる。

7. 親に属する金と二世に属する金とを別とせしめる。

又場合の手帳問題は、如何に複雑なるか。一と。

例を以て、一世と二世とを別とせしめる。

親の金が切らぬ、一世と二世とを別とせしめる。

手帳に属する金と、手帳に属する金とを別とせしめる。

金を以て考へ、本問題は、少くも、
政府に多大の負担を課すに失ふ。

又第三の問題、手帳に属する金と、
手帳に属する金とを別とせしめる。

一、氏曰く、手帳問題は、本来、
は本金の経理問題に論ずる、無期限出資の命令

は、信託関係及び生活費を支給する、
が、信託の結果、手帳に属する金と、
手帳に属する金とを別とせしめる。

的、手帳に属する金と、
手帳に属する金とを別とせしめる。

一、氏曰く、手帳問題は、
手帳に属する金と、
手帳に属する金とを別とせしめる。

エックス氏曰く、手帳問題は、
手帳に属する金と、
手帳に属する金とを別とせしめる。

A Japanese translation of the minutes of the
Relocation Guidance Council meeting for
Aug. 11, 1943.

主任指導委員會議事録。

十九日四十三午八月十一日午後一時より、第二十
三次会議室にて。

出席者：前会、十九日四十三午八月十一日、第
二十三次会議室にて開かる。

議長：ホルム氏、たじ出席者に對し、同会
と云す。

ホルム氏、石井、デック、金谷、ナ、幸川、メー、島、

平、エ、原、田、寺尾、エ、原、ボ、リ、ア、

デック、近田、川崎、ヒ、子、ナ、早坂、リ、ア、

藤子、デ、ヨ、ン、デ、ヤ、グ、タ、マ、ス、田、

デック氏前会の議事録を朗讀し、訂正を行。

石井氏受持正の変更となす。

前会より据置の諸問題をとり上げ、同題を

二、旅行手当請求の時計算に負債を

次負債より引くべきか。若し然らば、負債

の種類は如何。

金谷氏は、本問題に論議会に多量に及、之

を抹殺するも考へず。

ホルム氏、負債と云ふに確乎なる標準

なきが。

デック氏、否、負債なるものに、少しも説

明なし。使用中の用紙に、この問題が起

し時、負債を主とする場如、之れあり。但し

亦、軍事に財政上の状態を暗示するに

て、負債並に次負債も記入するなり。或る場

合に、此の用紙を用ふるにあり。例へば、出所を

脱するが、多量に保険金を未拂あり、之

を拂い、保険金を全部失効する場合、之

を掛金を次負債より引くこと、所收が右

の金と云ふこと、思はる。但し命令により、

負債を考慮する、之れは行。金谷氏、同題第三、廢案とす。勸議

を記す。リ、之に賛同し、勸議通過。

政府、既に一度は物資運送を支拂ふこと

Sheet 2.

之に拘る、蓋し自らの拘り運送地を誤る
 所也。同部が捕獲の次の同様なり。
 之の如く、其同部は、たゞに以下人に荷物を
 送る一節、人が、荷物に當り、今一度送り
 捕獲の所を誤るなり。

7月12日、夜に既に江戸へ
 ひとりで、船を今一度輸送一航路に
 を回す。

エソク、依に「下」が「アール」以外の地に在り、更
り地下室に物も入れ置かざらん。又より物を
を「アール」のWRAの倉庫に移すことも政府に依
るべし。又更に信に至ると、更にその物を
此に送らんと依れどせよ。政府は信
費にて之を送るべし。然れども、若し「下」が
バセメントで、更にその物を輸送せしむれば
政府に官費に之をなす也。

此田氏、前に何國の輸送と云ふことを明言せし
に、今一段の輸送、矢張り受合はれ居
る。

近頃氏、今更に一層も輸送を乞はぬを以て、凡
るものが江戸にも寄託地まで送らる。

四頁の英文、日本文のもの、三十四、五百頁)に、
全く充分に之を解説し、下之に終は収め、
後二頁に、此の国主なり。曰く、

立退者は、大抵戦争期間中、自己所有の家財、道具を、政府が預入してゐる倉庫に、無料で預けることが出来る。現在民間の倉庫に家財を預けてゐる人も、立退者生活支拂所に對し、右家財の政府保者

- 4. 旅行手荷出しにあり、獨身に五十井、又家族一人宛二十五井宛を、持金に除外せざるべし。
 - 5. 他に請うる能く、無期、除き、凡そ旅行手荷出郭者に對し、無期出所の場合に、その財政状態に論なく、旅行手荷を支給せらるべし。
 - 6. 旅行計画の冊子十四頁（日本文のものは三十四頁）に在る所有物運送規則制定前に、政府の費用に運送せしもの主返者、物に、政府輸送のものとしてせざるべし。
- 前に決議及び勧告に、本会長出席者皆場一致に通過せしもの、凡そ関係諸官が、周到なる考慮を之に世より之を罷止す。議長無き出席会員より二三意見の發表あり、何因公。次同、十九日四十三日、八月二十五日午後一時半より共二十三（夜）に開かる。

Sheet 2

といふが、又進んでなまじりその方にならざる。小集園の地位に反対せず、又田下千二リ湖に、集園農家地位の計画は、諸費組合の手続の一部を以て行はせしむるあり。而して東部華州に之を以て地あることを擇一居此が、ついで其國とて、自ら自給的農業主に従はんとす。八月は、資本を貸与するべく、新築を爲し、冬人の間に作り、又教会計屋等諸國本より援助を受けることと爲す也。ラジドクニスト氏が金銀と作居れる地位に委員、会もこれに力を入居せしむ。漫礼教會及びジョージ・タマス氏も市税を納め、全國費組合並に信用組合より補助が可能なり。金現在に至り、持ち手道少く、資金を主に資金の用途を擇一居此。而して農業主は一定の資本を退かざる者に融通する承諾を得たり。シユウク氏、それに農事保安局會に入居。バーバード氏、然り。集園地位に、その数に限る。

氏、限是に於て、十五坪乃至二十坪の家
 族に、その取扱上には一夫集國等々。最初W
 Aは集國を位を妨げんと試みても、その金全に變
 更して、同下の發行者に、その方が宜しきと考
 へに至りし。

アール・ル・氏、中西部より、集國労働者の申込あり、
その工場に若干名を要せしむるなり、凡て同所に
用ひしもの三十八人位。又外にウヤスミの州にも、集
國移住者あり申込二ヶ所もあり。特にこの頃、田舎
がみの農園にて二三家族ありと要す。十軒又は
十五軒より家族あり申込に未だ未だあり、若手
の上に或は實現也。

者に其の公を主として主を主とて一致を見せしむるも個人の家を標記にいふより好むべき。即ち主の住居に、家族及集居に在るやうなり。

南タコタ州の農林業、田舎業に自給する人々に、

Sheet 7

氏、無期限出獄を以て、收容所に歸し

一、何人か、何時に之を序、但
 一、官許に受仕西がた、再出又
 二、困難あり。

父兄が残り置ける家族に食費を拂ふ所
又折には打納ありなり。

合符。歸如者中に、多数の病人あり。又始より

子に云く、或は四人の若者来りて、仕多し掛合なり
 通門者主要求せしが、調査の結果、四人の内三人は、
 仕多し掛合だに非ることを知り。仍て目下は文書
 を以て要求せしむるにせし。有期の仕多しに就き
 八人の二に於て一言共ニ、仕多しを中止せしむるに伺
 分曉に至りて、先づ籍位等の官に相済して調
 停を乞ふ。何卒成ることを共申解。一と云ふ。

閑心

九月二十二日午後一時半、二十二日星雲室にて

A Japanese translation of the minutes of the
Relocation Guidance Committee meeting for
Sept. 22, 1943.

千九百四十三年九月二十二日の議事録。
議長アール・スミス氏開会。出席者、菅原修治。菅
野金次。レイン・アーマー。チー・幸川。アイデー・木村。ケ
石井。デック・金谷。ロイ・中河。リビー・藤平。ラス・田
田。目不世井。エド・ダニエル。スー・ルッ。イ。
前会の議事録を各員に配布し、各員を諮る。
アール・スミス氏。時を後にして、議事録中に訂
正、追加を要する、改定し之を改め。
何人が尚建議をなすや。
アール・スミス氏。将に資金について、如何なる、誰
が考案するや。成立の上、寄附を受けるもの
ものありと知れり。
町田氏。専門学校に、宜しく、準備校に学生に對
し、教員に資金を有す。
アール・スミス氏。学生会より將に資金を貸す申し出
てあり。是に對して、改定し之を改め。
アール・スミス氏。監査員教員に、之を援助せしむ。
石井氏。此意見如何。
石井氏。前に述べたに、是は同様に、之を改定、改
定し、思はれり。今、宜しくと存す。
アール・スミス氏。商業学校奨学金を作ること、可能性
に於て、金に對して、學費に充てられ、之に必要し
き良案と、思はる。書記役、供給超過する。手
を、金、その方面に、同様に、女子達に力
を。戦前の普通通目給、八十五円なり。今、
此理由より、學費を將に資金に、反對なし、
之を改定、又、入學の、に、反對なし。
中河氏。良案を存す。今、配布中の、風説に、
中、中学卒業生、外部の上校に、入、之を改定、又、入、
之を、特別の試験を受、之を改定、一般に、本所、
学校、計、外の学校に、及、之を改定、
アール・スミス氏。本所、中学、客年十一月、兩校、
資格を有する、として、アイダオ州、之を改定、
認められ居る、又、教師、資格も、文官試験、之を改定、

金谷氏。但一つ困難なる。之なる金と云ふことなり。

石井氏。日本入会者名義の下に一種の金あり大額なり。但一凍結せらる。或の金を使用時、金には困らぬ、金に使用の時と思はず。既に試み入るありが能はざらん。

アールン氏。高砂年渡士と相違ふ。

将学金に推するとい。窮乏計面委員にして良策と思はるや。

アールン嬢。所由の幾人か、寄附するにとも、委員の手を廻さば、佳妙難かる。

アールン氏。此の委員金等には、別に委員を設けて如何。又計画、学生生活のためみにて、将学金等外に、集金をせざるに由る。各々應分の寄附を受けるや。石井氏。委員をも適人

と指名せらるや。

石井氏。中ら氏。

アールン氏。中ら氏。同もな出所せらん。

菅野氏。元新聞記者なり此山氏。

アールン氏。会員中より、この一。

アールン嬢。アールン氏等如く、又アールン氏等如く、本会員に加ふる、有用なる。別に二名が彼にまう、彼等、知らざるも、本会員に上級生代表を有するとい。金等望みなり。

アールン氏。結構と存ず。教員も代表者も必要なり。

石井氏。アールン嬢、荒井氏、各教員一人、及び上級生代表は、如何。

アールン氏。それにて結構なり。尚外に討議せ

る必要あり。若し無きとせば、有難き事出で、将学資金を設くるは本会員等所にして、委員

いそぎ資金を望む必要を以て、之を本会に建議せし。

満場之を承認。

アールン氏。圓の集まることある新居住者に對する本会の方計如何。

Sheet 3

アール・マースの嫌。千エリ・マースの平がつかへ、彼等の
合理的見解は如何なるものかと思ふ。

菅野氏。若し田舎に一所の平の場所にならば、千エリ
マースも来る人はいくつか、永久に居るにせよ、出所
したあつたに就いておいて。

アール・マース氏。バーバー氏の言に依り、若し主として、
富収客所には、他富収客所と異なる態度あり。人々
の態度は多く富収客所の津田如何なる。千エリ
マース一般の態度に出所せざるに在り。政府は其
仕向が大切なる場合外、出所を強ひず。仕向
の申込に對して、口を封じ、或は上へ、其件は、
平時に在り。例へば、或は月に給二百井と費
用の一分も支拂はさず、或は来りて、手帳も持
たず、或は妻が病氣なりと云ふと、或は調
子よく結果、妻が病氣なりと云ふと、或は調
子よく人に承諾を與へ、又その人が戦時工作に關與
せし、政府は其人も働かざるに止むるも正當と思
はる。出所を中止せよ、合法の理由ある場合に、本
議を興へるに非ざる。

菅野氏。人々に真相を知らせ、其の風貌を述べ、
書式（これは二百七十三号の二）の書入を躊躇
せしむ。その人々、書式の書入をせざるを拒む
と、出所には働かざるをせざるに在り。

藤平氏。その人の家本に在りて、好まぬもの
で、千エリ・マース行を合するに在り。

アール・マース氏。その場合を以て、諸君は、其の
出所せざるに在り。或は書式に拾ふ仕向を登録
と均す、或は、口を封じ、或は先づ登録せしむ
を要す。

菅野氏。幾家家族が書入せしむ。

アール・マース氏。約一千家族なり。バーバー氏来所の
折を以て計へたり。その信書入を以て、人数あり。
アール・マースの嫌。彼地此地より現地より、其の
件につきて、何の違ひもなし。

アール・マース氏。少く尙早なり。バーバー氏に富所出
後、他の富客所を訪問せしむに在り。次富に、
千エリ・マースの新来者中、若干を以て、有用

Sheet 4

なると考へらるや、又尚早と考へらるや。

石井氏。尚早なり。極くには甚き困難なるものと
未だ知らざる可からず。

菅野氏。通信員を招きて、今更な通信に力を入る
やうにお勧めした。

アール・ルム氏。蔵書録を渡すことにも致し得。既
に数通に済みしが、多分紙面に乏しきもの
あり。石井氏。映画の模写は如何。

石井氏。映画は前週に回した、少くも回込みたる
ものあり。或は風説のみならず知る或る場所に
特に志望するが、その地に所へに通じて、模写
するを同会員に、多く面白からぬ返り来る。これが
その人達を特に注意し、今、WRAの官の通信の
みを予実として行い、又特に留書室に、各地
の模写を採るやう、人に語りをしる。

アール・ルム氏。WRA、映画を度々試み看る、之
がために留書室を設けあり。多うなる風説を打
破するとして、特にその句を経て、WRA現地の官
による進言もする。

アール・ルム氏。報告を一部を讀み、之を諸
君にお回し申して、之に對する反應を承りた
し。

餐會に、今少し多くなり出席者を望む。一人か一
人宛て宛ての會費を請ふ事やうある。

団會。次會、今より一週を隔て、即ち十月六日に、英
十二は娛樂室にて、午後一時開會。

A Japanese translation of the minutes of Relo-
cation Guidance Committee meeting for Oct 6,
1943.

議長アホーレ氏欠席につき、ローレン氏副議長代行。
出席者、菅原修次。渡辺一三。北川氏代理（
て）新井三郎。くわい、アホーレ。田岡タマス。香川師。
ジャック。ローレン。金谷三郎。荒井三郎。近田
タマツ。菅野金次。ジャック、ローレン、石井慶喜。
前会議の議事録を各員に配布、各員読了。
ローレン氏。前会議の議事録中に、訂正及び附加あり、
ありあるや。

ローレン議長。余了解する計に、奨学資金委員
会に、早に奨学資金委員会必要なること決議せられた
ること、実地には資金を準備するに非ざる。彼
れら調査が多量に要するなり。
決議の件、第二紙の第十一号、次如く表すことな
る。

有期奨学資金に奨学資金を準備する、必要と調
査するため、委員を指定する、本会が望む所也。

ローレン氏。委員のことは、後を報告あるや。

去月曜日に、奨学資金委員会同席、出席者、北
川氏代理、阿部氏、石井氏、荒井氏、香川師、ジャッ
ク、ローレン、ローレン、金谷三郎。報告。阿部慶
は、委員会決議の議題数項も提示し、且同
く、この委員は、轉任委員支配下にならず、寧ろ
他の或る委員に属するも宜しと主張する。田岡
但、この委員の援助下に置くべきや。ローレン氏
官立学校に、親師会下に奨学資金委員会あり。尚
市内に小學の親師会に之れあり、中學に之れなし。協
定委員会を之れ作る、尚否、尚疑なく、又
人々を、委員がその出資を強ひ人とするやと思
はるや。

奨学資金委員会可否につきは、少く議論あり。

田岡師の考に、奨学資金委員会、ローレン氏又
ボローク氏の管下に置くべく、又同様に居るは、
但た少く数人、何と云、斯くは、公衆の後援を
受ふに宜し。

A Japanese translation of the minutes of Relocation Guidance Council meeting for Nov. 10, 1943.

共九百四十三斗十石十斤合一时平斗，每二十二元
好乐场之，转位会经会同会。

議定下一年公試題名。

出席者、エ・ン・ビー・ア・ブ・の・ル・ス、~~井~~井・テ・一。

福山つとむ。飯田フランク。金谷デック。佐々田セ
ームス。石井慶章。若井善吾。寺川師。ゼーデー
ビー。エル、ダブルエー、フオムン。

委員会決議を録し出席員に配布せしめ、一読の旨次の訂正を行ふ。

第五條第五節以下，訂正個知略。

前会に提出せし未解決の同題を以て先づ之を上程。

キヤビテ一煙。アイヤ一氏お誠の折、絹布商若くは之に類する商人も、また漸く、無業となる、今や、無縁故の商人甚と確し、之と云ふまでも可らずと語られたり。古門を承けず、古門外の事に従はざる可きさまが。例へば、教師、法律家、商人の如きが。

一、氏。然り。吾門家、讀書家、その他、が其所
 を企て場合に、先づ其所と一地方に住み、その周
 圍の情勢をよく研究し、~~その~~其の地位を正確に先
 人にて、その地と人との態意になつて、利巧なる方法
 とせず。かくせば、~~其の~~其の態意を有する援助を世に与へる
 に合するを得べく、又かくせば、教師、法律家等と
 ともに、地位の可能性を識し、とも出来ぬ。余
 は一某教師が先づ出知し、~~其の~~其のを得、然るに其の
 師とて、地位を占め、何國語も起らざる、
 ことを知り。

キヤビテ一毎公。後に教師が家内勸とてお出する場合
に、之に對する公衆の反應は如何があるか。早急の
退職に公衆の憤慨あり。――

たる場合に、公無能の無感となく必要にあらざる
 之も、その職に在る言に主として欠席する場合に
 別問題なり。若し一人一社会の中に既に知己を得
 又その公無能を認めざる場合に、好交を断ずる

Sheet 2

るべきこと、公衆も協力も得、その各々面を
認識せらるゝことあり。

アール・ム氏。デモイも大層良き口を申す。
その家庭働なり、家族又は妻の勤注者に取
てい甚だ好都合なり。傭主に給金外に食事を
是、妻は掃除その他のお由働となる。住宅問題は
解決し、又自身の進歩を求むるための時同も共
なり、新社会に慣れに事なし。又実業家が男子
及び婦人も近附するに事なし。他人々も接遇を
誘ひて、遂にそのおむる方面に身を置くに及ぶ。
キヤン・嬢。二十歳で商業学校の二年生なり。
学生として居住の決心が、その条件に、望み
叶ふ場は、
ブー・氏。商業を教養ある人、住むと求むるに困
難なき。

新と訂正規則の制定に、本委員会より提出の勸
告が考慮せられ、ものに、新規則、その結果に
及ぶ。

渡辺氏。余が親及その家族は、期節の出所中
なり、下月も手當を受け得る場合に、無期
限出所と東部に帰る計画あり。手當出所
に收容所に定まる必要ありや。

ブー・氏。否、期節に出所せし人、無期限轉
任を企てる場合に、定まる必要なし。最近の
轉任事務官に、無期限出所許可及び手當下
附の出所を許可し得る。而して收容所に轉送せし
同所より之を發給す。手當、總て轉任者を助け又
援助を要する。總て人々も助け人が居る。廻り道に
なりぬ場合に、東部に赴く所に、帰る人と思はる
りしよし。無期限出所に轉任せしとする場より
收容所に立寄りてまた去り行くために手當を
出所せし、且下附せし。手當下附出所
は約一週を要す。一週を出発に先んじて出所
せし。余の郵送を乞ふことも出来、旅行の手、
何時にも受取らるるを得、又二十五事も、到る
の日に、數の宛に受信し得る。
石井氏。チーリー・キーン・が收容所に到

着の店、に因／＼と入／＼と聞／＼所／＼に、同地／＼は、
旅行手廻に因／＼して、同／＼も受／＼れが、出所
者／＼に、何／＼と手廻と豊／＼、教／＼が、取調／＼を、
て手廻も受けたり。

ピーン氏。ケリー・キの／＼が、何／＼も疑／＼を、受／＼
け、して手廻及び生活費を受けしに、強／＼理由
あり。彼等／＼は、山／＼、山／＼、山／＼、その他の收容所に移さ
れ、~~可~~可／＼なるもの故、政府／＼に、必／＼收容地に送り、更に
移住せしむ／＼が、けり、に、費／＼を、省／＼、又、移住を奨励す
るために、此の方針に、せ／＼なり。

石井氏。成／＼程。手廻疑／＼、教／＼度、余／＼に、尋／＼れ
たり。多人、教／＼誤／＼解し居る故、之を明白に、せ／＼
く必要あり。

金谷氏。目下、他、收容所に、總／＼四、七、五、仙、の、技
員、を、受／＼る、あるに、高、收容、所、に、二、三、串、を受／＼く。他、の
收容、所、が、四、七、五、仙、と、支、給、所、に、何／＼以下、
高、に、い、え、る、事、を、聞、か、る、や、う、疑、同、多、く、の、人、の、中
に、起、り、居、り。

渡辺氏。ケリー・キに、て、被、服、科、三、串、七、五、仙、外
に、一、人、一、月、四、串、七、五、仙、二、人、に、一、月、九、串、を受／＼く
る、こ、う、な、り、居、り。

ピーン氏。又、傳、い、移、住、指、導、委、員、会、成、立、に、て、
事、柄、と、諸、君、に、考、へ、ら、る、や、う、也。移、住、せ、ら、る、人、の、先、の、
心、構、へ、を、要、す。誰、人、か、る、事、と、提、案、せ、ら、る、と、欲、さ、る、也。

總、て、期、節、出、知、を、許、す、べ、き、事、の、識、起、り。多、く
教、か、期、節、出、知、い、出、所、に、手、目、分、く、と、又、期、の、詳、知、
に、亦、容、易、な、る、と、知、る。

大都市に、て、適、当、の、服、装、を、な、さ、し、て、同、題、を、提、出
あり。ト、バ、ズ、に、て、移、住、を、指、導、す、た、め、に、作、は、り
組、あ、る、も、あ、ら、い、に、実、行、せ、ら、る、や、う、也。同、題、
学、校、に、て、い、己、に、ま、り、同、題、を、提、議、せ、ら、る、若、く、は、不、明、の
時、を、有、し、居、り。

Sheet 4

キヤンデー嬢。前々週のイリゲーター紙に、学生の事情を
めぐる記事あり。この貴府の全國學生
生活會議のみのことは、アムステルダム嬢に伝へ、入學
志望の學生に何人も援助をせよと継続せよとせ
り。貴府の事務所は、經費の欠乏が又、國家より
必要を認めぬが、千九百四十四年三月閉鎖せよとす。

福井牧客及び中西部、東部訪問より近き歸事せし
福山氏より旅行の報告あり。

荒井夫人より、アムステルダム嬢に親
師會に出席せし報告あり。學校に同席し、親
師會は、何時にも吾人も援助を用ゐる
り。會費は甚だ好意を有せし、必要の生計に
場合に、援助の申し出てを遠慮せぬやうとす
とせり。

田舎。次會は、今日より二週后、即ち十一月二十四
日午後一時より、第二十二俱樂部室にて開かる。